



徳島県立中央病院 患者支援センター
770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3
http://www.tph.gr.jp/

電話 088(631)7151
FAX 0120(631)715
mail: chiiki@tph.gr.jp

泌尿器科におけるロボット手術 ～腎部分切除術～

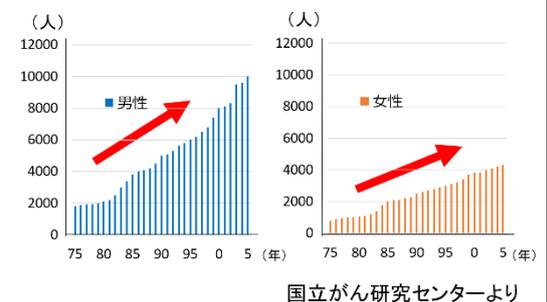
徳島県立中央病院 泌尿器科 塩崎 啓登

近年、健康診断や人間ドックなどで行われるCT検査や超音波検査の進歩により偶然、腎腫瘍が発見されるケースが増えてきています。腎腫瘍は、悪性の可能性が疑われれば手術治療となりますが、以前は根治的腎摘除術（腫瘍がある腎臓を1個まるごと摘出する手術）が標準治療となっていました。しかしながら、ここ最近では4cm以下の小さな腎腫瘍であれば腫瘍部分のみを摘出する腎部分切除術が多く行われるようになってきました。腎部分切除術は、手術後の腎機能温存において有用でさらに根治的腎摘除術と同等の制癌効果があることがわかっています。

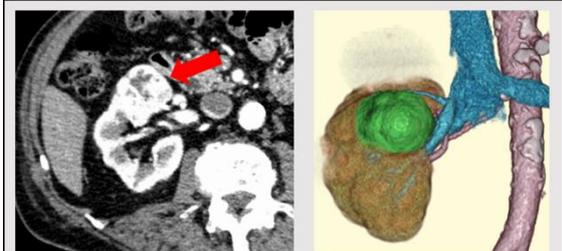
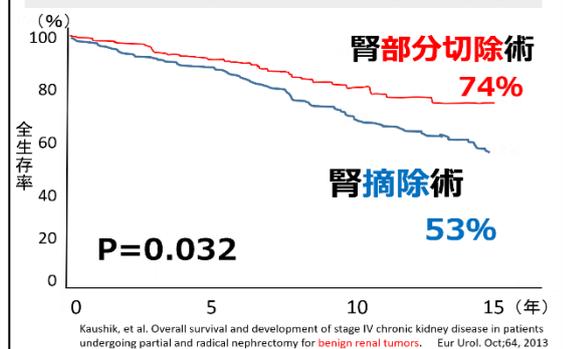
また、腹腔鏡手術で行うため、開腹手術に比べて傷が小さく、手術後の痛みが少ないこともメリットの一つです。この腹腔鏡手術がさらに進歩したものが手術支援ロボット、ダヴィンチです。2016年4月からは、ダヴィンチを用いた腹腔鏡下腎部分切除術が保険適応となりました。ダヴィンチ手術は、三次元の高解像度の画面を見ながら、これまで内視鏡手術では不可能であった動きが可能となった精度の高い手術です。また、当院では術前に画像解析システムを用いて腫瘍のある腎臓の3D画像を作成し手術に役立てています。

このような手術支援ロボットや画像解析システムの進歩により、徳島県立中央病院では7cm以下の腎腫瘍の症例に対しては積極的にダヴィンチ手術による腹腔鏡下腎部分切除術を検討しています。従来では腫瘍が大きく腹腔鏡による腎部分切除術が不可能と言われていた症例でも、今後はダヴィンチにより腎部分切除術が施行できる可能性もあります。何かご不明な点などがございましたら、お問い合わせください。

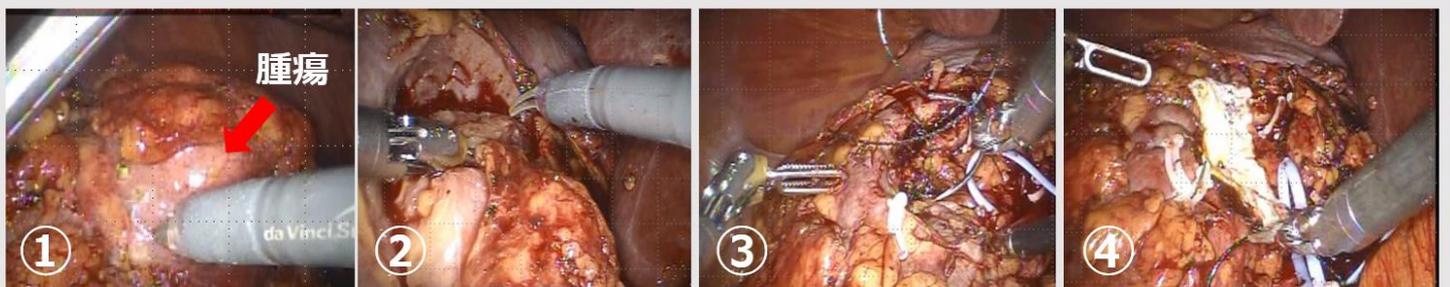
腎癌は、年々増加しています



腎摘除術と腎部分切除術の予後



術前CTによる3D画像



① 腫瘍のマーキング

② 腫瘍切除

③ 切除部の縫合

④ 完成